

銘柄分析レポート：いぶし銀ファンド（2020年版）

1 はじめに

私が勝手に「いぶし銀ファンド」と呼んでいる株式投信があります。苦瓜達郎氏の運用している大和住銀日本小型株ファンドです。

長らく良好な成果を上げてきたこのファンドも、直近1年間のパフォーマンスは2.1%にとどまり、13.3%上昇したJASDAQインデックスに大きく出遅れました。

苦瓜氏は、6月10日付の運用報告書にて、次のように述べています。

新興市場を中心とするテーマ銘柄の物色はあまりにも急速かつ移り気で、反落リスクは高まっていると判断しています。

一方、割安銘柄には依然として放置されているものも多く、实体经济の正常化につれて反発することが期待できます。当ファンドでは、今後も割安株投資を徹底します。

目先のパフォーマンスを追わず、投資方針を堅持する姿勢は立派です。

今回の銘柄分析レポートでは、毎年恒例ともなっている、この「いぶし銀ファンド」の投資銘柄の中から2銘柄を取り上げます。

★大和住銀日本小型株ファンド 当期中の基準価格と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		JASDAQ INDEX		株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 組 入 比 率
	円	騰 落 率	(参考指数) ポ イ ン ト	騰 落 率		
(期 首) 2019年6月10日	16,540	—	146.80	—	94.0	—
6月末	16,723	1.1	147.60	0.5	94.3	—
7月末	17,232	4.2	151.44	3.2	91.1	—
8月末	16,160	△ 2.3	146.13	△ 0.5	94.4	—
9月末	16,968	2.6	153.82	4.8	94.7	—
10月末	17,947	8.5	159.67	8.8	94.9	—
11月末	18,558	12.2	167.74	14.3	93.6	—
12月末	19,443	17.6	174.09	18.6	93.4	—
2020年1月末	18,870	14.1	169.10	15.2	96.9	—
2月末	16,176	△ 2.2	144.95	△ 1.3	94.8	—
3月末	13,980	△ 15.5	133.43	△ 9.1	92.2	—
4月末	14,929	△ 9.7	145.36	△ 1.0	93.8	—
5月末	16,524	△ 0.1	160.80	9.5	92.1	—
(期 末) 2020年6月10日	16,893	2.1	166.35	13.3	91.0	—